

建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る遡及改定の影響(概要) 国土交通省

- 「建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る遡及改定に関する検討会議」において決定された方法に基づいて遡及改定を行い、推計値を算出しました※注1。
- その影響(H25～R3の訂正前の公表値から訂正後の数値を控除した額とその割合)を表で示すと、以下のとおりです。

	訂正前の公表値－訂正後の数値(上段:差額[兆円]、下段:割合[%])※注2								
	H25 (2013) 年度	H26 (2014) 年度	H27 (2015) 年度	H28 (2016) 年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度
受注統計 元請受注高	2.5兆円 5.1%	2.2兆円 4.2%	2.6兆円 4.8%	2.3兆円 4.2%	2.4兆円 4.4%	2.6兆円 4.4%	1.3兆円 2.4%	1.5兆円 2.8%	▲0.1兆円 ▲0.1%
受注統計 受注高合計 (元請＋下請)	4.6兆円 6.4%	4.1兆円 5.6%	5.2兆円 6.5%	5.2兆円 6.5%	4.3兆円 5.5%	5.1兆円 6.2%	3.2兆円 4.0%	2.8兆円 3.6%	0.7兆円 0.7%
建設総合統計 ※注3	0.2兆円 0.5%	0.2兆円 0.4%	0.2兆円 0.4%	0.2兆円 0.5%	0.1兆円 0.2%	0.1兆円 0.2%	0.3兆円 0.6%	0.3兆円 0.6%	▲0.3兆円 ▲0.5%

※注1:以下の誤りについて、併せて訂正を行っています。

(建設工事受注動態統計調査)

- ・ 令和3年4月分の下請け受注高における事業者からの報告誤り

(建設総合統計)

- ・ 平成29年度の補正率算定時における数値の取り違い
- ・ 平成28年12月に公表した建築着工統計調査(平成25年7月分)の着工相当額の修正値の反映漏れ

※注2:正の値は訂正前の公表値が過大であったことを示し、負の値(▲)は過小であったことを示しています。

※注3:訂正前後の数値ともに、令和元年度から3年度においては、令和元年度の建設投資額の実績値を用いて算出しています。
また、平成30年度以前においては、各年度の建設投資額の実績値をそれぞれ用いて算出しています。